

地域全体で子どもたちを育む

～15年間で育てる菊川の子ども～

【下関市 菊川中学校区】

地域の概要

本校区は下関市の東側、「小日本」と呼ばれる豊かな田園地帯が広がる菊川盆地に位置し、南北に流れる木屋川と東西に流れる田部川が町の中心で合流しています。地域の方々の学校に対する関心は高く、協力的です。児童生徒が参加する地域主催の行事も多く開催され、みんなで地域の活性化を図る気運が高い地域です。

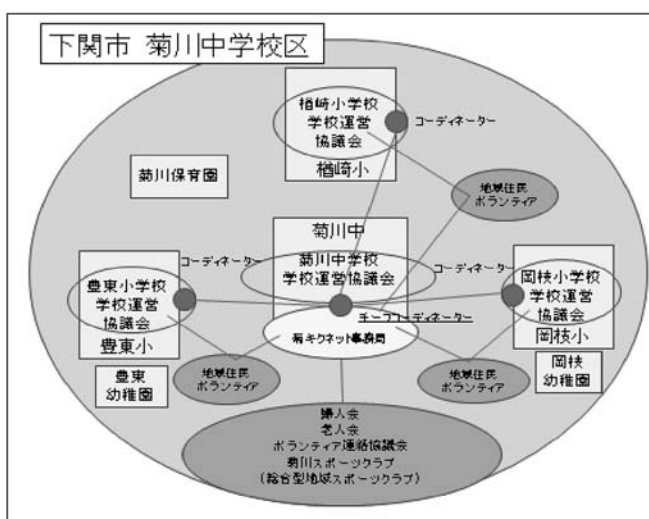
人口	8,053人	
世帯数	3,281世帯	
対象校及び児童生徒数	菊川中学校	243人
	豊東小学校	203人
	岡枝小学校	125人
	榑崎小学校	83人

組織の内容

平成23年度は菊川中学校のみで組織された「ふるさと下関協育ネット『菊キクネット』」に、平成24年度から豊東・岡枝・榑崎の3小学校が参加しました。平成26年度からは、菊川保育園と豊東幼稚園が加わり、「15年間で育てる菊川の子ども」をスローガンに、乳幼児期から中学校卒業程度までの育ちや学びを地域ぐるみで見守り支援する、つまり、「地域の子どもは地域で育てる」という観点から活動を展開しています。

下関市菊川町では、各学校のニーズに応えるため小学校ごとに応援団が存在していました。この

既存の応援団の活動をそのまま継続してもらっています。その上で、菊川中学校に配置されているチーフコーディネーターが各学校のコーディネーターと連携して、既存の応援団や新たな応援団と連絡を取ることで、新しいニーズに応えることができるようになってきました。地域の実情をよく理解され、様々なネットワークをもっておられる社会福祉協議会の方がチーフコーディネーターを引き受けてくださり、大変助かっています。



特色・重点的な取組

「菊キクネット」では、「元気な町づくり」と「地域への恩返し」に昨年度から重点的に取り組んでいます。まず、菊川町を更に元気にするために元気なあいさつが飛び交うようにしていくことです。また、地域主催の行事に子どもたちが積極的に参加することで、元気な町づくりの一助とすることです。さらに、中学生はボランティア活動に参加し、地域に恩返しをしていくことです。1学期に中学校の学校評価で実施した「学習や行事において、地域の人たちは協力的だと思いますか」という質問に、生徒全員が「そう思う」と回答していました。地域からの支援を肌で感じているからこそ、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加して、「恩返しをしたい」、「地域を元気にしたい」と思う児童生徒が増えてきたのだと思います。また、サマースクールで中学3年生が小学生に勉強を教えたり、スポーツクラブとの連携により、サッカー部の生徒がサッカー教室で小学生に教えたりすることにより、子ども同士での結び付きも更に強まってきています。「菊中生みたいになりたい」と小学生に言われることにより、中学生の自覚も更に高まってきています。

主な活動の紹介

○菊川中学校

- ・環境整備…花壇の整備、除草・剪定作業
- ・学習支援…試験監督補助、サマースクール個別指導、調理実習
- ・生徒によるボランティア活動、スポーツクラブとの連携、あいさつ運動



菊川中「サッカー教室」

○豊東小学校

- ・環境整備…剪定作業、樹木伐採、「絆の森（アスレチック）」保守、ゴミ保管庫の新設工事
- ・学習支援…ゲストティーチャー（生活科、総合的な学習の時間等）
- ・見守り …登下校中の交通指導、昼休み「絆の森」での見守り
- ・その他 …昼休み紙芝居や昔遊び、集会活動（焼き芋）の支援
中国からの訪問団への歓迎活動（昔遊び等）



菊川中「保育実習」



豊東小「焼き芋集会」

○岡枝小学校

- ・環境整備…アスレチック補修、剪定作業、華山登山道整備
- ・学習支援…米作り体験、いも作り、サマースクール個別指導、しめ縄作り
- ・その他 …学校行事の際の託児、図書ボランティア「うさみみの会」による読み聞かせ
行事用食材の調達（苗全滅に対する救済：地域からの提供）



岡枝小「米作り体験」

○榑崎小学校

- ・環境整備…剪定作業、草刈り作業、草引きボランティア
- ・学習支援…ゲストティーチャー（生活科、総合的な学習の時間等）
サマースクール個別指導
- ・その他 …学校行事の際の託児、図書ボランティアによる読み聞かせ、昔遊びでの交流



榑崎小「餅つき」

成果と課題

小・中学校の学校運営協議会の関係者や保育所・幼稚園の関係者、地域の方々が連携し、地域ぐるみで子どもを育む体制が整ってきました。こうした中、教職員の努力はもちろん、園や学校で地域の方々による日常的な教育支援活動を通して、子どもたちは着実に成長しています。「子どもたちが元気よくあいさつをしてくれるので、私たちも元気をもらっています」「中学生に教えてもらって、子どもたちは楽しく勉強や運動をしています」「子どもたちの参加や献身的な活動は菊川町の誇りです」と、ことあるごとに地域の方からお褒めの言葉をいただいています。その一言が子どもの自尊感情を高め、次の行動につながっています。幼保・小・中・高は様々な行事を通して連携を図っています。今後は、教育支援活動の成果や課題を共有しながら、「菊キクネット」とコミュニティ・スクールの一体的な推進を図っていききたいと思います。更に、元気な町づくりにも貢献できるように、家庭や地域との協働につなげていくことが課題です。

今後の取組

以前は各校で行っていた教育支援活動を「ふるさと下関協育ネット」が結び付け、校区の枠を越えた支援の輪が定着してきました。今年度、豊東小学校で全校児童が育てた芋の苗を鹿が食べてしまうという事態が発生した際、「ふるさと下関協育ネット」のチーフコーディネーターの呼びかけで地域の方が町内の芋を集め、「焼き芋集会」の開催にこぎつけることができ、児童は大いに喜び、感謝したことがありました。「ふるさと下関協育ネット」が効果的に働いた具体例の一つだと思います。今後は、保育所や幼稚園においても地域が積極的に協力できる体制を構築していくために、各園や学校の情報を共有した具体的な教育支援活動の充実に取り組んでいききたいと思います。